

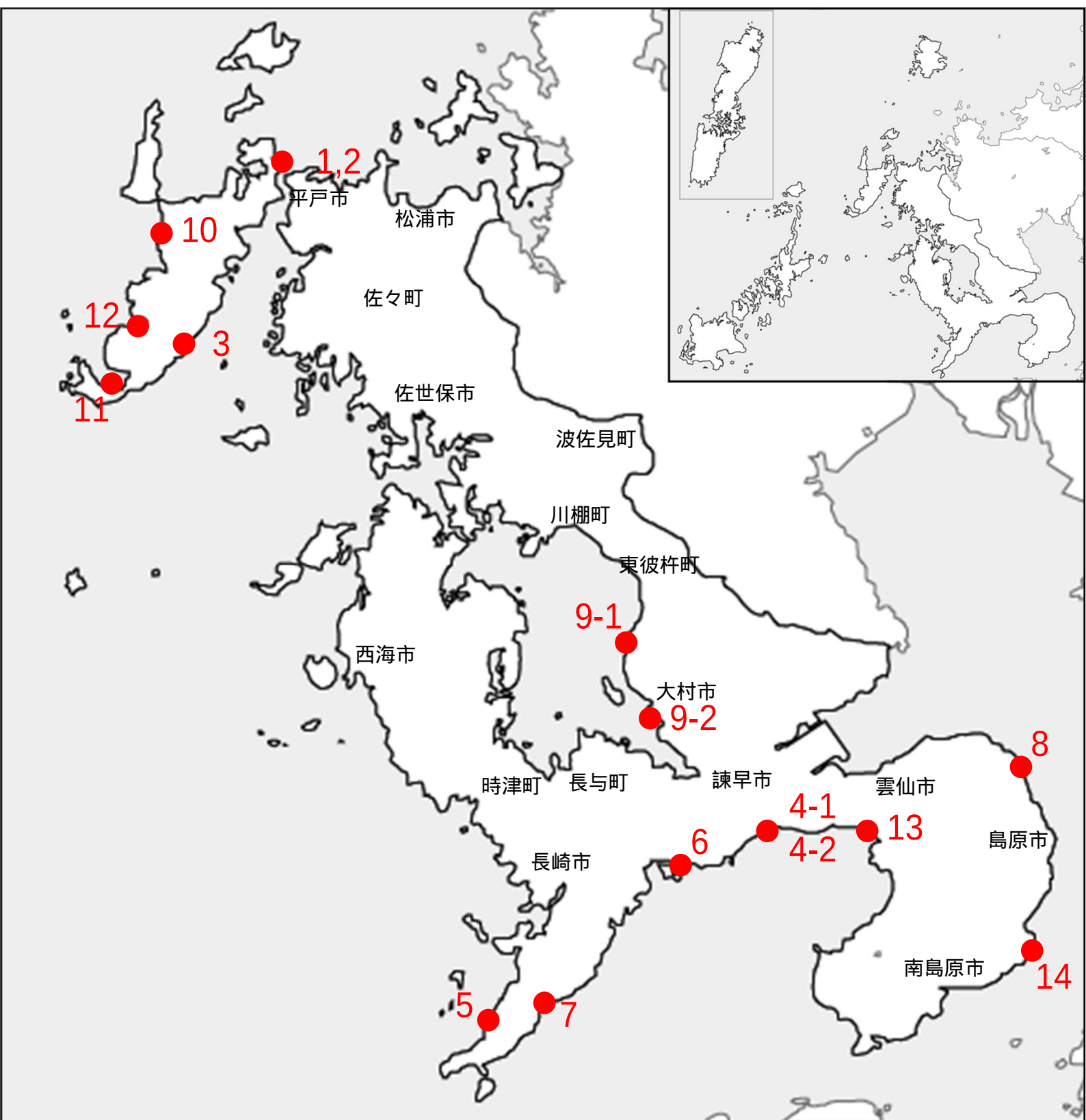
農山漁村地域整備計画

計画の名称 長崎県漁港漁村地域(本土)整備計画
計画策定主体 長崎県、長崎市、島原市、大村市、平戸市、雲仙市、南島原市
対象市町村 長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、雲仙市、南島原市
計画の期間 令和4年度～令和8年度(5年間)
計画の目標 長崎県本土の漁港漁村地域においては、人口減少や漁業者の高齢化等により、過疎化や水産業の活力低下などの影響が現れてきている。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「環境変化に対応し、一次産業を活性化する」に基づき、施策として掲げる「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」を推進し、女性や高齢者等に対応した施設整備をはじめ、水産業や漁村の暮らしを下支えする漁港・漁村の環境づくりを目指す。 また、近年全国的に頻発する地震・大雨・台風・高潮などの自然災害に備え、災害に強く、安全・安心な暮らしと生命財産を守るための施設整備等を進める必要がある。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「安全安心で快適な地域を創る」に基づき、施策として掲げる「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」を踏まえ、高潮・波浪等への対策に寄与する施設整備をはじめとした防災・減災対策の充実を図る。
定量的指標 (漁港漁村環境整備事業) ○田助地区・前津吉地区・有喜地区・大三東地区・大村地区・志々伎地区・古田地区・貝崎地区において、漁業活動に要する作業時間の短縮(整備前の3/4以下) (整備前の3/4以下) () ○田助地区において、活魚出荷割合の増大(27.8%→40.0%) (4日→0日) ○野野串地区において、台風接近時における漁船避難準備及び解除作業にかかる休業日数の解消(4日→0日) (効果促進事業) (女性・高齢者の漁業就業率52%→女性・高齢者の漁業就業率60%) ○有喜地区において、女性・高齢者の漁業就業率の増加 (女性・高齢者の漁業就業率52%→女性・高齢者の漁業就業率60%) (海岸保全施設整備_漁港) (0ha→17.5ha) ○戸石地区・為石地区・千千石地区において、高潮等の被害から防護する面積の確保 (0ha→17.5ha) (水産物供給基盤整備事業) (6回/日→0回/日) ○新獅子地区の漁港と主要地方道間において、水産業関係車両の離合時の停止もしくは後退回数の改善 (6回/日→0回/日)
対象事業 別紙のとおり

農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	田助	長崎県	平戸市	浮桟橋 1式	(R4～R5) R4～R6	(436,154) 448,582	総事業費が10億円以下のため未記入	1
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	田助	長崎県	平戸市	浮桟橋 1式	(-) R7	(-) 300,000	総事業費が10億円以下のため未記入	2
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	前津吉	長崎県	平戸市	護岸(改良) 82m 浮桟橋 1基 (800) 用地(改良) 1200m ² 用地(蓄養水面) 1式	R5～R8	(480,000) 490,000	総事業費が10億円以下のため未記入	3
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	有喜	長崎県	諫早市	防波堤(改良) 38m 護岸(改良) 182m -3m岸壁(改良) 76m 物揚場(改良) 52m 浮桟橋 1基	R6～R8	(480,000) 480,000	総事業費が10億円以下のため未記入	4-1
効果促進	-	有喜	長崎県	諫早市	トイレ(改良) 1基	R6～R7	(27,000) 60,740	効果促進事業のため未記入	4-2
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	野野串	長崎市	長崎市	沖防波堤(改良) 60m 北防波堤(改良) 52m J護岸(改良) 34m 集落道 40m 種苗放流・効果調 1式	R4～R7	(556,014) 582,344	総事業費が10億円以下のため未記入	5
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	戸石	長崎市	長崎市	護岸(改良) 260m	R4～R8	(310,302) 310,002	総事業費が10億円以下のため未記入	6
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	為石	長崎市	長崎市	離岸堤 150m	R4～R8	(1,140,574) 1,139,744	23.2	7
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	大三東	島原市	島原市	浮桟橋 1基 物揚場(改良) 50m	R6～R8	(313,590) 132,480	総事業費が10億円以下のため未記入	8
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	大村	大村市	大村市	(松原) 沖防波堤 50m 突堤(改良) 30m 護岸(改良) 24m (東浦) 防波堤(改良) 77m	R6～R8	(700,000) 700,000	総事業費が10億円以下のため未記入	9-1(松原) 9-2(東浦)
水産物供給基盤整備事業	漁港関連道整備事業	新獅子	平戸市	平戸市	道路(改良) 634m	R4～R7	(128,914) 128,924	総事業費が10億円以下のため未記入	10
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	志々伎	平戸市	平戸市	(福良) -2.5m物揚場(改良) 20m (船越) 向月D物揚場 35m 取付護岸 5m 用地 1,430m ² 向月A泊地 200m ² 向月A護岸 42m (志々伎浦) 浮桟橋 1基	R4	(25,500) 25,500	総事業費が10億円以下のため未記入	11
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	古田	平戸市	平戸市	突堤(新設) 45m 突堤(延伸) 30m 西防波堤(改良) 70m K護岸(改良) 20m	(R4～R7) R4～R8	(388,830) 487,300	総事業費が10億円以下のため未記入	12
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	千千石	雲仙市	雲仙市	離岸堤 1,200m	R4～R8	(956,400) 956,400	41.4	13
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	貝崎	南島原市	南島原市	沖防波堤20m 貝崎B物揚場(改良) 53m 護岸(改良) 18m 用地(改良) 9m 突堤40m 貝崎漁港物揚場(改良) 180m	(R4～R7) R4～R8	(557,400) 557,900	総事業費が10億円以下のため未記入	14
合計 (全体事業費)							(6,500,678) 6,799,916		

長崎県漁港漁村地域(本土)整備計画 位置図



農山漁村地域整備計画評価調書

計画の概要

計画の名称	長崎県漁港漁村地域（本土）整備計画
対象市町村	長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、雲仙市、南島原市
計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）
計画の目標	長崎県本土の漁港漁村地域においては、人口減少や漁業者の高齢化等により、過疎化や水産業の活力低下などの影響が現れてきている。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「環境変化に対応し、一次産業を活性化する」に基づき、施策として掲げる「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」を推進し、女性や高齢者等に対応した施設整備をはじめ、水産業や漁村の暮らしを支える漁港・漁村の環境づくりを目指す。 また、近年全国的に頻発する地震・大雨・台風・高潮などの自然災害に備え、災害に強く、安全・安心な暮らしと生命財産を守るための施設整備等を進める必要がある。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「安全安心で快適な地域を創る」に基づき、施策として掲げる「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」を踏まえ、高潮・波浪等への対策に寄与する施設整備をはじめとした防災・減災対策の充実を図る。
評価指標	（漁港漁村環境整備事業） ○田助地区・前津吉地区・有喜地区・大三東地区・大村地区・志々伎地区・古田地区・貝崎地区において、漁業活動に要する作業時間の短縮 （整備前の3/4以下） （整備前の3/4以下） （ - ） ○田助地区において、活魚出荷割合の増大（27.8%→40.0%） ○野野串地区において、台風接近時における漁船避難準備及び解除作業に係る休業日数の解消 （4日→0日） （4日→0日） （効果促進事業） ○有喜地区において、女性・高齢者の漁業就業率の増加 （女性・高齢者の漁業就業率52%→女性・高齢者の漁業就業率60%） （女性・高齢者の漁業就業率52%→女性・高齢者の漁業就業率60%） （海岸保全施設整備__漁港） ○戸石地区・為石地区・千千石地区において、高潮等の被害から防護する面積の確保 （0ha→17.5ha） （0ha→17.5ha） （水産物供給基盤整備事業） ○新獅子地区の漁港と主要地方道間において、水産業関係車両の離合時の停止もしくは後退回数の改善 （6回/日→0回/日） （6回/日→0回/日）
対象事業	漁港漁村環境整備事業 9地区 （1） 効果促進事業 1地区 （3） 海岸保全施設整備事業 3地区 （1） 水産物供給基盤整備事業 1地区
全体事業費	（6,500,678 千円） 6,799,916 千円

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 田助

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 田助

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 前津吉

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 有喜

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：効果促進事業

評価

事業箇所名：有喜

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と効果促進目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の効果促進の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 野々串

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

評価

事業箇所名：戸石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

評価

事業箇所名：為石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名：大三東

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名：大村

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁港関連道整備事業

評価

事業箇所名： 新獅子

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標として
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名： 志々伎

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標として
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名：古田

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

評価

事業箇所名：千千石

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：漁村再生交付金事業

評価

事業箇所名：貝崎

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置付けている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とすることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

農山漁村地域整備計画 チェックシート

(計画名: 長崎県漁港漁村地域(本土)整備計画)

1 対象市町村	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
対象市町村は対象事業の受益が記載されているか	・事業の対象受益地である市町村名が正しく記載されている	☒	☐
	・対象市町村数を右欄に記載してください	(7)	
2 計画の期間	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
概ね3～5年の計画期間になっているか	・計画期間(交付期間)が概ね3～5年で設定されており、対象事業の事業期間と合致している	☒	☐
3 計画の目標	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
関連する計画との整合性が図られているか	・都道府県等が作成する農業振興地域整備計画、圏域総合水産基盤整備事業計画、海岸保全基本計画及び国土強靱化地域計画等の関連する計画と整合が図られている	☒	
達成できる目標となっているか	・目標は対象事業の実施により計画期間内に達成が見込まれるものとなっている	☒	☐
地域の課題に対する目標となっているか	・目標は地域の課題を十分に踏まえたものとなっている	☒	☐
4 定量的指標	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
計画の目標との整合性がとれているか	・計画の目標の達成状況を客観的に判断できる指標となっている	☒	☐
定量的な指標となっているか	・指標が定性的でなく、事業実施前後の状況が確認できる定量的なアウトカム指標となっている	☒	☐
計画期間内の事業量と整合が図られているか	・定量的指標値が整備計画期間内の事業量と整合が図られている	☒	☐
事後評価が出来る適切な指標となっているか	・交付期間終了後又は交付期間終了年度中に成果目標の目標値の実現状況について事後評価を行うことが可能な指標となっている	☒	☐
5 対象事業	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
交付対象事業及びその構成が適切なものとなっているか	・計画の目標及び評価指標の達成のために必要である交付対象事業の構成となっている(不要・不急の事業は含まれていない)	☒	☐
交付対象事業の事業内容が最新の事業計画書と整合が図られているか	・交付対象事業の事業内容(工期、総事業費等)は最新の事業計画書の内容となっている	☒	☐
効果促進事業は事業の趣旨・要件に合致しているか	・基幹事業と一体となってその効果を一層高める事業となっており、基幹事業の全体事業費に占める割合が20/100目途となっている	☒	☐
事業型毎に事業地区単位を基本に記載されているか	・都道府県単位や市町村単位又は事業型を束ね複数の事業地区が記載されていない (事業計画の作成等の都合上、束ねて整理せざるを得ない地区は除く)	☒	☐
事業名及び事業型を特定できるよう記載されているか	・指定された事業名及び事業型が記載されている	☒	☐
費用対効果は記載されているか	・費用対効果の記載対象事業は、数値が記載されている ・費用対効果の記載対象外事業は、その理由が記載されている	☒	☐
6 その他	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
提出書類は揃っているか	・対象事業を示した図面が添付されている ・事前評価に関する資料が添付されている	☒	☐
事前評価が実施され、その結果が公表されているか	・事前評価が実施され、公表「HP、縦覧、その他()」されている (または、公表予定である(令和7年3月))	☒	☐

チェック欄に計画主体、農政局それぞれでチェックを入れる